

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	とんとん				公表日	2026年 1月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		複数の部屋を活用し、ご利用様が不自由なく活動できるスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		児童指導員の必要人数を満たしており、お出掛け等のイベント行事の際は多めに配置してより安全な態勢を整えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		2色のマットを床に敷いており、ご利用者様が集まる場所を分かり易くしている。	手すりはあるが賃貸物件の為、バリアフリーは最小限となっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		ご利用者様が帰宅した後と来所される前に清掃・消毒を毎日行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		メインで使用している部屋以外に別部屋があり、個別課題やクールダウンをする場所がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		毎日のミーティングで1日の流れを確認したり前日の振り返りを行っている。月1回の会議で	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		送迎時に保護者様と話し合いをしており、個人面談や保護者会も行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎日のミーティングや月1回の会議で把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10			年1度の評価制度は活用しており、今後も継続していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		月1回研修を行っている。外部研修にも参加している。	回答無 1名
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		1人ひとりのご利用者様の特性に合わせて支援プログラムを行っている。ホームページにも掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		保護者様のニーズや願いを聞きながらご利用者様の特性に合わせて個別支援計画書の作成をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		毎日のミーティングや月1回の会議でカンファレンスを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		毎日のミーティングや月1回の会議で計画書の説明・共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		送迎時にその日の活動内容や様子を伝え、情報交換や共有を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ねらい及び支援内容を設定している。集団活動等も5領域に合わせて実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		月1回の会議や日常的な話し合いをしている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		複数の活動プログラムを行っており、固定化しない工夫をしている。	同じ内容にならないよう新しいことも随時検討する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		ご利用者の発達状況や段階に沿って個別・集団ごとに個別支援計画書を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日のミーティングで話し合いをしており、内容を再確認できるようノートにも話した内容を記載している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		支援中や支援終了後に必要な情報共有をしており、支援の方法など話し合いをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日ご利用者の様子が分かるよう連絡帳を書いており、経過記録等にも記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		適宜行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10		ガイドラインに沿った内容で活動プログラムを組み、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		集団活動の中で選択肢を与えたり、自由時間では好きな遊びができる環境を整えている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		緊急時の連絡先や病院等は事前に保護者様にお聞きし、支援体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		送迎時にご利用者の利用予定を渡し、お迎えの行き違い等がないようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		児童発達支援の職員と常に情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	8		今は機会がない為、今後検討していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		月に1回、地域の児童発達支援センターに行き、ご利用者の情報共有を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	1		長期休みや土曜日は公園などに遊びに行くことがあり、地域の子供と関わる機会がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10			参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			送迎時やLINE等でご利用者の様子を伝え情報共有を行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10			通信やホームページに研修を行った旨を掲載しており、研修の情報提供をしている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			契約時に行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			送迎時や個人面談の際に設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			主に送迎時に確認していただき、同意を得ている。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		送迎時やLINE・電話等で行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10		保護者会を開催し、保護者様同士の交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		契約時に説明を行い、LINE・電話対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		月1回通信の配布・LINE・インスタグラムホームページ等で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵付きの書庫を使用し、留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		視覚障害の方へは電話での説明や直接会ってコミュニケーションを取る等配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		会社としては地域と関わりがあり、今後参加を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各マニュアル、策定している。ホームページ等で周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPを策定しており、研修で避難訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時に確認し、異変があれば直ちに保護者様へ連絡している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		契約時に確認し、異変があれば直ちに保護者様へ連絡している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		研修等で行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		面談時など事業所に来られた際にデイルームを見ていただく等して周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットの活用、会議での話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		年に2回行っている。外部研修にも参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		現在は身体拘束が必要なご利用者様がいないため行っていないが、ご利用されていた時は個別支援計画書に記載・説明を行っていた。		